

事業所名

Nobiruva 港南台

支援プログラム

作成日

R6

年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		・私たちは社会へ貢献します。 ・私たちは、私たちが関わる全ての人を尊重します。 ・私たちは、プロフェSSIONALであり続けます。					
支援方針		・将来の子どもたちの姿をイメージする。 ・今できないことよりも、その子らしさを活かしていく支援。 ・自己肯定感を高める。					
営業時間		10 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	弊所では、上履きを履き、着席した状態で遊びやプログラムを行なっています。 プログラムは全員着席し、メイン講師に注目しながら進行することで、学校の授業に近い環境を作っています。 その中で社会生活でのあるべき姿を認識し、青年期の移行段階で戸惑うことがないよう環境整備に取り組んでいます。					
	運動・感覚	コーディネーショントレーニングを取り入れ、体の神経系に働きかけ運動能力の向上を目指しています。 これにより、身体的スキルの向上、認知機能の強化、自己肯定感の向上、社交スキルの育成、感情調整の促進を通じて、運動能力だけではなく総合的な発達を支援しています。					
	認知・行動	ビジョントレーニングを取り入れ、視空間認知能力を向上させるとともに、人が本来持つ集中力・判断力・情報処理能力など、さまざまな能力の向上を目指しています。 併せて、危機回避能力を向上させることで、周囲の状況を迅速に判断し、適切に反応することで、事故や怪我のリスクを減少させることを目指しています。					
	言語 コミュニケーション	原則会話でのコミュニケーションを行なっています。その中で、対象者への注目や指示の傾聴が身に付くよう支援しています。 職員、児童ともに、“さん”付けで声をかけ、早期の段階から丁寧語で会話することができるよう、適切な関わりを目指しています。					
	人間関係 社会性	来所時に落ち着いて過ごすことができるよう、壁や窓への装飾を一切なくし、作業や活動に集中して取り組むことができるよう環境設定を行なっています。 また、時間やルール、マナーの遵守を徹底し、社会に円滑に参画していくことができるようサポートしています。					
家族支援		毎月の会報にて、対応方法の解説、福祉業界の現状、進学や就職についての解説などを行なっています。その他、個別のご相談にも専用SNS等にて随時承っております。				移行支援	相談支援事業所、こども家庭支援センター等と連携を図っています。通学先と連携し、先生方による弊所への見学、弊所から先生方への助言等を行なっております。
地域支援・地域連携		週末や祝休日を利用し、外出や外食の活動を定期的に取り入れています。その中で地域との関わりを持ち、社会の枠組みの中で生活していくスキルの獲得を目指しています。				職員の質の向上	入社時研修、その他定期的な研修をもとに、知識や技能の向上を目指しています。また、管理者や児発管が中心となって、具体場面での支援方法についてのフィードバックを行なっています。
主な行事等		【平日】ビジョントレーニング、コーディネーショントレーニング、ソーシャルスキルトレーニング、図画工作、理科実験、調理活動等 【学校休業日】調理活動、外出、外食等 【長期休暇】BBQ、夏祭り、川遊び、餅つき、みかん狩り等					